株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中
株主確定基準日	定時株主総会の議決権　3月31日 配当　3月31日 その他必要ある時は、あらかじめ公告いたします。
公告方法	当社公式WEBサイトに掲載します。(http://www.dainichi-net.co.jp/) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告を行なうことができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

お問い合わせ内容	お問い合わせ先	
	証券会社などに口座をお持ちの場合	特別口座の場合
● 氏名、住所などのご変更 ● 単元未満株式の買取・買増請求 ● 配当金の受取方法、振込先のご変更	お取引のある証券会社などにお問い合わせください。	※みずほ信託銀行 証券代行部に お問い合わせください。
● 郵便物の発送・返戻に関するお問い合わせ ● 未払配当金に関するご照会	※みずほ信託銀行証券代行部にお問い合わせください。	

※ みずほ信託銀行株式会社 証券代行部　フリーダイヤル：0120-288-324　〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4

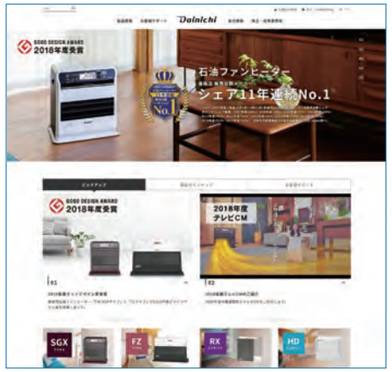
公式WEBサイトのご案内

公式WEBサイトはより多くの方々にダイニチの魅力を知っていただけるように、8 月にリニューアルを行ないました。

また、株主・投資家の皆様には、当社をよりご理解いただくために、「株主・投資家情報」で決算短信や財務諸表など各種資料を掲載しております。

http://www.dainichi-net.co.jp/

ダイニチ　検索



●平成 30 年 8 月にリニューアルしました。

ダイニチ工業株式会社
〒950-1295　新潟県新潟市南区北田中 780 番地 6

Dainichi

ダイニチ工業株式会社

株主通信

第56期 上半期のご報告（平成30年4月 1日～平成30年9月30日）

GOOD DESIGN AWARD
2018年度受賞

【証券コード：5951】

企業理念　～わが社の方針～

新しく生み出す技術を核に
役立つ商品を開発するとともに、
販売してくださる小売店様を大切にし、
お客様には長く愛情を持って
使い続けていただきたい。

こうした思いは、当社の全ての仕事を
支える基本理念となっています。

目次

トップメッセージ ―― 1
当第２四半期の概況 ―― 2
特集
これからも魅力ある新製品を出しつづけ、市場の確保と拡大を目指します。～新製品発表会～ ― 3
お客様の生活を支えるダイニチのモノづくり
家庭用石油ファンヒーター平成30年度モデルのご紹介 ― 5
加湿器平成30年度モデルのご紹介 ― 7
決算のご報告 / 会社概要 / 株式の状況 ―― 9
株主メモ / 公式WEBサイトのご案内 ―裏表紙

Top Message トップメッセージ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご厚情を賜り、誠にありがたくお礼申しあげます。

当第2四半期累計期間（平成30年4月1日～平成30年9月30日）におけるわが国経済は、政府による経済政策や日銀の金融緩和を背景に企業収益や雇用情勢は回復基調で推移しました。

しかしながら、国内では住宅建設が横ばいで推移したことに加え、海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響には留意が必要で、景気の先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

こうしたなかにあって当社は、市場や住環境の変化に対応した商品開発に取り組みました。

また、高騰する輸送費に対応するとともに、出荷や保管に関する業務の効率化を進めるため、2019年6月の稼働に向けて配送センターの建て替えに取り掛かりました。

主力商品であります石油暖房機器におきましては、お客様の要望に即した製品開発を行ない、全13タイプ33機種を発売して冬の需要期に備えております。

また、電気暖房機器におきましては、セラミックファンヒーター2機種を発売し、スポット暖房の需要にお応えしてまいります。

加湿器におきましては、全3シリーズ17機種を発売しております。

当第2四半期会計期間は、暖房機器及び加湿器は販売店への製品導入期にあたるため売上は僅少でありますが、石油暖房機器の輸出が増加したことと、国内向けの主力商品である石油暖房機器において量販店の導入及び高付加価値商品の出荷が順調に進んだことにより、売上は前年同期実績を上回りました。

当第２四半期の概況

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高は57億73百万円（前年同期比19.2%増）、営業損失は1億85百万円（同88百万円減）、経常損失は95百万円（同95百万円減）、四半期純損失は1億34百万円（同14百万円減）となりました。

通期の見通し

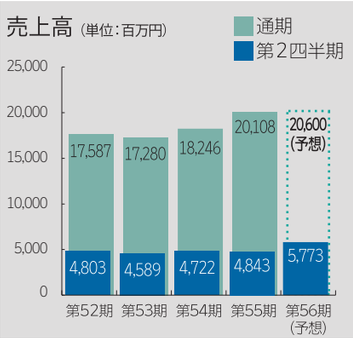
第56期におきましては、売上高206億円、営業利益9億円、経常利益9億円、当期純利益6億円を見込んでおります。

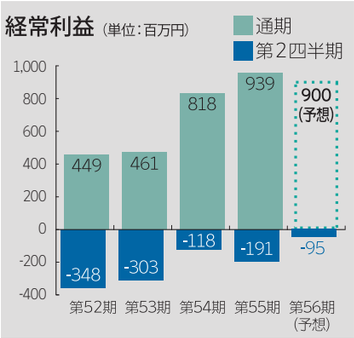
業績は原油価格の動向や冬期の気候条件などにも影響されますが、当社製品への期待は根強いものがあると実感しております。

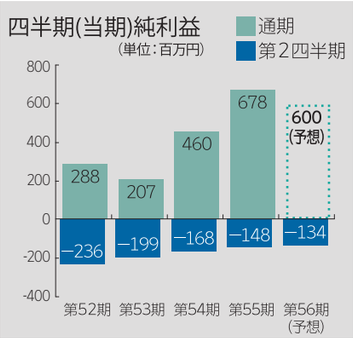
通期目標の達成に向けて全力で取り組んでまいりますので、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

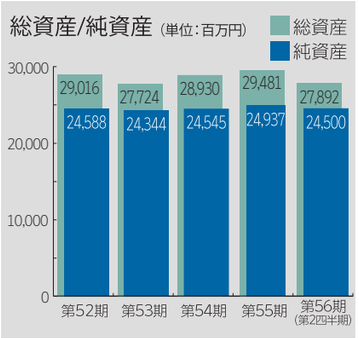
平成30年11月 代表取締役社長 吉井 久夫

財務ハイライト









特集 これからも魅力ある新製品を出しつづけ、市場の確保と拡大を目指します。～新製品発表会～

8月21日（火）、時事通信ホール（東京）にて初めて開催した「ダイニチ工業株式会社 新製品発表会」での社長挨拶をご紹介します。当日は67名のメディア関係者が来場し、盛況となりました。

日本の冬には、まだ石油ファンヒーターが必要です。

石油ファンヒーターは、昭和53年に三菱電機様が日本で初めて、世界でも初めて開発された製品です。

今年でちょうど40年という節目の年を迎えています。発売以来急成長を遂げ、日本の冬の暖房の主力製品になる画期的なものになりました。

しかし現在は、ヒートポンプ式の冷暖房兼用のエアコンが普及したことで、石油ファンヒーターのシェアが減ってきていますが、石油ファンヒーターの暖房感が支持されてエアコンとの併用などもあって、毎年200～300万台の需要が続いています。

石油ファンヒーターの市場は成熟していますが、私たちは、製品はまだまだ成熟しているとは思っておりません。毎年、機能、性能、デザイン、安全性といった魅力ある製品の開発に取り組んでおり、今年もそのような観点から新製品を出しています。

今さらながらという感じもしますが、この新製品発表会を通して、石油ファンヒーターが日本の冬の暖房に必要な製品だとアピールしたいと思います。

加湿器についても、歴史は石油ファンヒーターよりも古く、50年以上になると思います。

最初は、水を電気ヒーターで温めて蒸気を出すスチーム式だけでしたが、超音波式、気化式、ハイブリッド式と進化し、現在でもそれぞれの方式が混在して販売されています。

また、エアコンの普及に伴って、以前よりも室内の湿度が低下する環境が多くなっています。そのため、乾燥に伴う不快感や、インフルエンザの流行などに対して、能力のある加湿器の需要は拡大しています。

見かけだけのイメージ製品から、実際に加湿効果のある製品への期待もあり、使用者のニーズにあった製品を開発することで新しい需要を開拓しております。今年の当社の加湿器の新製品も期待できるものだと思っています。

ニッチ市場で生き残るには、トップになる事が重要。

当社が主力で扱っています、石油ファンヒーターも加湿器も、市場規模は極めてニッチです。ニッチなゆえに大手メーカーでは力を入れるというより、手離していく市場になっています。その中で生き残るには、トップになることが重要です。

ニッチトップの考え方は中小企業による事業創生や地方再生の掛け声になっていますが、簡単にできるものではありません。

長年にわたる努力の積み重ねを通して使用者に認められて成り立つものだと感じています。

当社は大きな会社ではありませんが、それぞれの市場や製品ではトップシェアを維持しています。

機能・品質の向上のために、国内での開発、生産をしています。

また、新しい製品開発を推進しているのは単に同業他社との競争だけではなく、他の市場の製品から奪われないようにするための活動だと思っています。

我々としては、これからも努力を続けて魅力ある製品を出し、市場の確保と拡大を目指していきます。

今、多くの家電製品はコスト低減のために海外での生産を主力にやっているメーカーが多いのですが、当社は、製品開発も生産もすべて新潟でやっています。

使用者の信頼を得るために、製品の機能や品質を向上させるには、国内での開発や生産活動は極めて重要だと考えています。

これからも、自信のある信頼される日本製の製品を提供していきたいと思っています。

特集　お客様の生活を支えるダイニチのモノづくり　～家庭用石油ファン　ヒーター平成 30 年度モデルのご紹介～

いよいよ平成30年度の新製品の販売を開始いたしました。
今年度も豊富なラインナップを揃え冬の需要期に備えております。

3 枚の動くフラップと 2 枚の固定ルーバでお部屋全体を快適に暖める SGX タイプ、家庭用型モデル No.1※3暖房力で大きなスペースも1台でしっかり暖めるFZタイプを新発売いたしました。

平成 30 年 10 月 3 日、SGX タイプ、FZ タイプは寒冷地に暮らす人々への暖かな配慮が感じられるデザインなど高評価をいただき、2018 年度グッドデザイン賞（主催：公益財団法人日本デザイン振興会）を受賞、また、平成 30 年 10 月 24 日には、累計生産台数 3,000 万台を達成しました。

GOOD DESIGN AWARD
2018年度受賞

全国有力家電量販店
石油ファンヒーター
11年連続
販売台数
メーカーシェア
No.1※1

5 枚の羽根で足元からあったか SGX タイプ

スピード着火 35 秒※2

従来機の最速 40 秒着火は、さらに速くなり 35 秒着火※2になりました。

傾斜 23.4 度の操作パネル

立っていても座っていてもボタンを押しやすく、さまざまな姿勢でも視認しやすい角度です。

5 枚の羽根であったか

3枚の動くフラップ（トリプルフラップ）と2枚の固定ルーバを搭載。

トリプルフラップはファンヒーターの燃焼量に応じて自動で最適角度に調整。温風の吹き上がりを抑え、足元からお部屋をより効率よく暖めることができます。

家庭用型モデル No.1※3 の暖房力 FZ タイプ

家庭用型モデル No.1※3 の暖房力

業務用石油ストーブ 10kW モデルと同等出力のハイパワーを実現しました。

壁際に設置、給油もラクに。

温風の吹出しが一方向なので壁際に設置でき、給油はタンクを取り外して別の場所で行なえるのがメリットです。

※1: 平成19年度～平成 29 年度（年度 =4 月 1 日～ 3 月 31 日）石油ファンヒーター メーカー別販売台数シェア ダイニチ（シェア数値／平成 19 年度 =49%・平成 20 年度 =59%・平成 21 年度 =53%・平成 22 年度 =49%・平成 23 年度 =49%・平成 24 年度 =50%・平成 25 年度 =54%・平成 26 年度 =53%・平成 27 年度 =54%・平成 28 年度 =52%・平成 29 年度 =55%）／全国有力家電量販店の販売実績集計／ GfK Japan 調べ。※2: 保温なしの着火時間。FW-5718SGX は 40 秒。※3: 家庭用石油ファンヒーター（一般社団法人日本ガス石油機器工業会による強制通気形開放式石油ストーブ内区分）における最大の暖房出力。平成 30 年 7 月 1 日現在。

特集　お客様の生活を支えるダイニチのモノづくり　～加湿器平成 30 年　度モデルのご紹介～

「加湿器のお手入れを簡単にしたい」「加湿器を清潔に保ちたい」というお客様の声を受け、ハイエンドモデルのＲＸシリーズとＨＤシリーズパワフルモデルに「Ag+ 抗菌アタッチメント」を搭載しました。

従来より抗菌加工を施した空気取込口・トレイ・気化フィルターに加え、もう一つの水の通り道であるタンクにも抗菌加工を施し、清潔性がアップしました。

全国有力家電量販店 加湿器 5年連続 メーカー販売シェア No.1 ※1

静音 No.1 ※2 MOST SILENT

RX シリーズ

HD シリーズ パワフルモデル

「Ag+ 抗菌アタッチメント」

タンクキャップに装着する「Ag+ 抗菌アタッチメント」から水中に溶出した抗菌成分が、タンク内の雑菌の繁殖を抑えます。※3

※1: 平成 25 年度～平成 29 年度（年度 =4 月 1 日～ 3 月 31 日）加湿器メーカー別数量・金額シェア　ダイニチ（全国有力家電量販店の販売実績集計／ GfK Japan 調べ）。※2: 同クラス気化式・ハイブリッド式（温風気化／気化）における連続運転可能であり、かつ最大加湿能力を発揮するモード（当社ではハイブリッド式加湿器［標準］モードを指す）運転時の最小運転音［当社 RX･HD シリーズは 13dB、HD シリーズパワフルモデル（2,400mL/h 機種は除く）･HD-E シリーズは 15dB］。平成 30 年 7 月 1 日現在。自社調べ。 ※3:【試験機関】一般財団法人 日本食品分析センター【試験方法】日本電機工業会自主基準（HD-133）に準拠（試験対象：水中の 2 種類の菌）【抗菌・防カビ・抗アレル物質の方法】タンクの水に抗菌剤を浸漬【抗菌・防カビ・抗アレル物質を行なっている対象部分の名称】Ag+ 抗菌アタッチメント【試験結果（試験番号）】6 時間で 99% 以上の抑制を確認（第 18054444001-0101 号）（第 18081600001-0101 号）

テレビCMが始まりました！

平成30年度秋冬のCMは、モデルのRINAさんが、製品の魅力をキュートにお伝えします。

●家庭用石油ファンヒーターSGXタイプ編

●加湿器RXシリーズ編

放送予定（～平成30年12月）

テレビ東京系列局 毎週日曜 20:54-21:54

「日曜ゴールデンの池上ワールド」
「日曜ビッグバラエティ」
「緊急SOS!
池の水ぜんぶ抜く大作戦」

Channel Dainichi
こちらからご覧いただけます。
https://goo.gl/xYFPc1

決算のご報告

貸借対照表

（単位：千円/千円未満切捨）

	当第２四半期会計期間 平成30年9月30日現在	前事業年度 平成30年3月31日現在
流動資産	**19,562,288**	**22,343,458**
固定資産	**8,330,052**	**7,137,851**
有形固定資産	6,522,899	5,459,564
無形固定資産	22,812	28,665
投資その他の資産	1,784,340	1,649,621
資産合計	**27,892,341**	**29,481,309**
流動負債	2,476,463	3,580,670
固定負債	915,463	963,044
負債合計	**3,391,926**	**4,543,715**
株主資本	23,892,025	24,415,153
評価・換算差額等	608,388	522,440
純資産合計	**24,500,414**	**24,937,594**
負債純資産合計	**27,892,341**	**29,481,309**

損益計算書

（単位：千円/千円未満切捨）

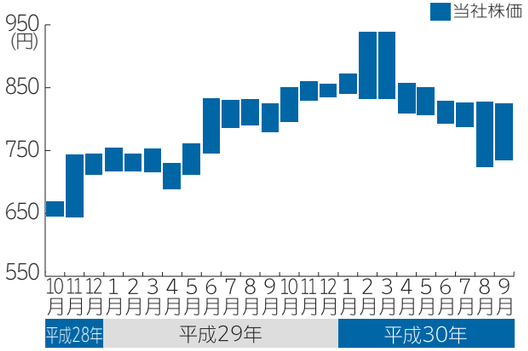
	当第２四半期累計期間 （平成30年4月１日 平成30年9月30日）	前第２四半期会計期間 （平成29年4月１日 平成29年9月30日）
売上高	5,773,590	4,843,327
売上原価	3,914,586	3,234,912
売上総利益	**1,859,004**	**1,608,414**
販売費及び一般管理費	2,044,634	1,882,169
営業損失（△）	**△185,630**	**△273,755**
営業外収益	94,912	82,754
営業外費用	5,206	31
経常損失（△）	**△95,924**	**△191,032**
特別損失	75,706	10,021
税引前四半期純損失（△）	**△171,630**	**△201,053**
法人税、住民税及び事業税	10,950	10,950
法人税等調整額	△48,514	△63,173
四半期純損失（△）	**△134,065**	**△148,829**

キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円/千円未満切捨）

	当第２四半期会計期間 （平成30年4月１日 平成30年9月30日）	前第２四半期会計期間 （平成29年4月１日 平成29年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー	△7,352,747	△7,246,259
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,498,878	△155,852
財務活動によるキャッシュ・フロー	△388,260	△388,398
現金及び現金同等物に係る換算差額	815	60
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△9,239,071	△7,790,450
現金及び現金同等物の期首残高	15,645,326	14,871,644
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,406,255	7,081,193

株価の推移



会社概要 / 株式の状況

会社概要

平成30年9月30日現在

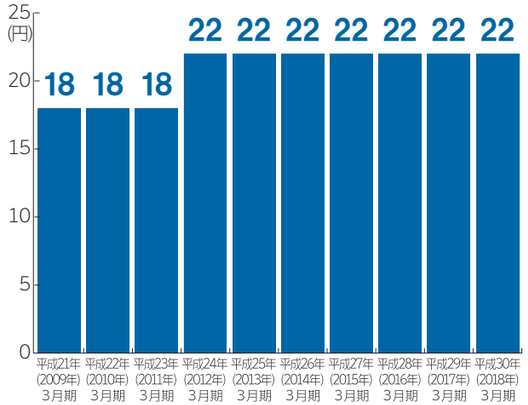
社　　名	ダイニチ工業株式会社
英文社名	Dainichi Co.,Ltd.
本　　社	〒950-1295 新潟県新潟市南区北田中 780 番地 6
設　　立	昭和 39 年4月1日
資 本 金	40 億 5,881 万円
従業員数	498 名

株式の状況

平成30年9月30日現在

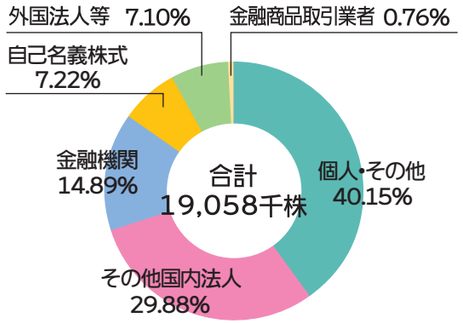
発行可能株式総数	54,767,100 株
発行済株式の総数	19,058,587 株
株主数	3,514 名

1株当たりの配当金の推移



大株主（上位10位）

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社ビー・エッチ	1,841	10.41
一般財団法人 佐々木環境技術振興財団	1,497	8.47
株式会社ダイニチビル	1,361	7.70
ダイニチ工業従業員持株会	945	5.35
株式会社第四銀行	850	4.81
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社（信託口）	778	4.40
吉井 久夫	570	3.23
吉井 久美子	556	3.15
渥美 るみ子	391	2.22
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社（信託口）	388	2.19

（注）当社は自己株式を 1,375,168 株保有しておりますが、上記の大株主からは除外しております。なお、持株比率は発行済株式の総数から自己株式を除いて計算しております。

所有者別株式比率